

2021 第 35 回 神奈川トライアスロン大会 兼 関東選手権

バイク OP マニュアル

【TO(審判)用】

第1.0 版

作 成 者	海野 浩
作 成 日	2021 年 6 月 10 日
最終更新日	2021 年 6 月 10 日

概略

◆概略:

■スケジュール

6 月 13 日(日)

- 6:00 チーフ・サブチーフ集合
- 6:30 全 TO 集合。本部前で受付後、バイクチームでミーティング、設営等開始
※ 朝食が必要な方は、取ってきてくださるようお願いいたします
設営
- 7:00 グランドライブオープン
設営
- 9:00-10:05 スーパースプリントの部 (バイク想定 9:05-9:43)
グランドライブ内コース変更
- 10:00-12:22 一般の部/一般リレーの部(バイク想定 10:10-11:31)
グランドライブ内コース変更
- 12:30-13:45 選手権(エリート女子)(バイク想定 12:40-13:20)
- 14:00-15:07 選手権(エリート男子)(バイク想定 14:10-14:45)
- バイク競技後 撤収・後片付け。
・グランドライブは、早めに閉まる。コーンやバーは、グランドライブ外へ。
・工場内は、コーンやバーは、まとめるだけで OK。
- 片付け後 本部で謝金受取。バイクチームで確認後解散予定

■競技 ★同じ距離でも、グランドライブ内でコースが異なるので注意

スーパースプリント	10km (3.4km × 2 + 1.6km × 2)
一般の部	20km (6.6km × 3)
選手権の部	20m (3.4km × 5 + 1.6km × 2)

■コンティンジェンシープラン

コースは、船の着岸により“プラン B”あり (トランジションとその出口を変更)
またスイム中止の場合は、“プラン C”あり(バイクコースの変更は無し)

競技内容

1. 競技カテゴリー

No	カテゴリー		エントリー人数		競技開始	レースナンバー	スイムキャップ
1	スーパースプリントの部		49 人		09:00～【*1】 (09:00～09:03)	201-318	黄
	(中学生)	男子	(17 人)			(201-217)	
		女子	(13 人)			(218-230)	
	(高校生)	男子	(0 名)			-	
		女子	(1 人)			(231)	
	(一般)	男子	(14 人)			(301-314)	
		女子	(4 人)			(315-318)	
	2	一般の部		239 人		10:00～【*1】 (10:00～10:11)	
(高校生)		男子	(13 人)		(401-413)		
		女子	(4 人)		(604-607)		
(一般)		男子	(190 人)		(414-603)		
		女子	(32 人)		(608-639)		
3		一般リレーの部		16 組・45 人			
	(3 名チーム)		(13 組・39 人)				
	(2 名チーム)		(3 組・6 人)				
4	選手権の部		女子	20 人	12:30【*2】	62-82【*3】	白
			男子	54 人	14:00【*2】	1-57【*3】	
合計			407 人				

【*1】ローリングスタート：5 秒おきに 2 人ずつスタート(計測ポイントを踏んでから計測開始)

【*2】フローティング斉スタート：海上にロープを張り、1m おきに選手がロープを握ってフローティングで並び斉スタート

【*3】選手権の部レースナンバー欠番：「女子」61,65 「男子」3,10,42 ※出場辞退のためスタートリストから削除

2. 距離/周回数

No	カテゴリー	総距離	スイム	バイク	ラン
1	スーパースプリントの部	12.875km	375m (375m x1)	10km (3.4km x2 + 1.5km x2)	2.5km (2.5km x1)
2	一般の部	25.75km	750m (750m x1)	20km (6.6km x3)	5.0km (2.5km x2)
3	一般リレーの部	25.75km	750m (750m x1)	20km (3.4km x5 + 1.5km x2)	5.0km (1.0km x5)
4	選手権の部	25.75km	750m (750m x1)	20km (3.4km x5 + 1.5km x2)	5.0km (1.0km x5)

3. 制限時間 (目安)

No	カテゴリー	スイム	バイク	ラン
1	スーパースプリントの部	スタート後 15 分	スタート後 40 分	スタート後 1 時間(60 分)
2	一般の部	スタート後 30 分	スタート後 1 時間 20 分(80 分)	スタート後 2 時間(120 分)
3	一般リレーの部			
4	選手権の部	-	-	-

スケジュール

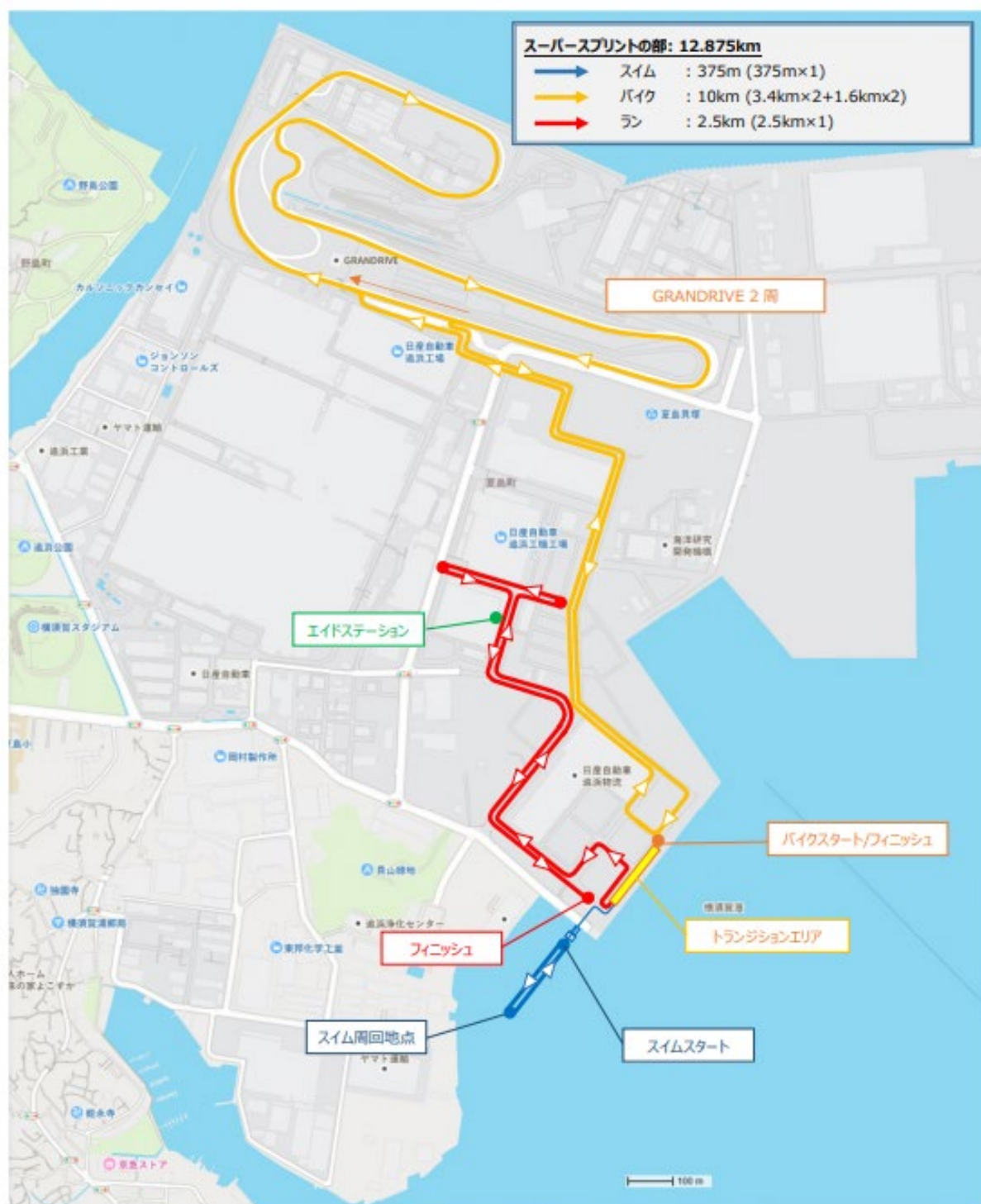
4. タイムスケジュール

<2021 年 6 月 13 日(日)> ※詳細は、別紙タイムテーブルの PDF 資料を参照

内容		時間	
集合(役員/TL/TD/HR)		05:00	
集合(スイムチーフ/サブチーフ)		05:30	
集合(各チーフ/各サブチーフ)		06:00	
集合(全 TO)		06:30	
集合(ボランティア)		07:30	
【選手】 駐車場オープン		07:30	
【選手】 受付		07:45 - 08:45	
【選手】 開会式 *アナウンスで実施		08:30 - 08:35	
【選手】 競技説明会(スーパースプリント/一般) *アナウンスで実施		08:35 - 08:40	
【選手】 競技説明会(選手権女子)		10:50 - 11:00	
【選手】 競技説明会(選手権男子)		11:20 - 11:30	
トランジションチェックイン			
	スーパースプリントの部	07:45 - 08:40	
	一般の部/一般リレーの部	07:45 - 09:00	
	選手権の部 (エリート女子)	11:00 - 11:30	
	選手権の部 (エリート男子)	11:30 - 12:00	
競技		招集	スタート - 終了見込
	スーパースプリントの部	08:40	09:00 - 10:03
	一般の部/一般リレーの部	09:40	10:00 - 12:11
	選手権の部 (エリート女子)	12:15	12:30 - 13:45
	選手権の部 (エリート男子)	13:45	14:00 - 15:07
トランジションオープン (バイクピックアップ)			
	スーパースプリントの部	09:45 - 10:40	
	一般の部/一般リレーの部	11:45 - 12:30	
	選手権の部 (エリート女子・男子)	14:50 - 15:30	
表彰式 *アナウンスで実施			
	スーパースプリントの部	10:30 - 10:45	
	一般の部/一般リレーの部	12:50 - 13:05	
	選手権の部	15:30 - 15:45	
【選手】 閉会式 *アナウンスで実施		15:45 - 15:50	
解散(全 TO) *業務終了後、順次流れ解散		16:00 頃	

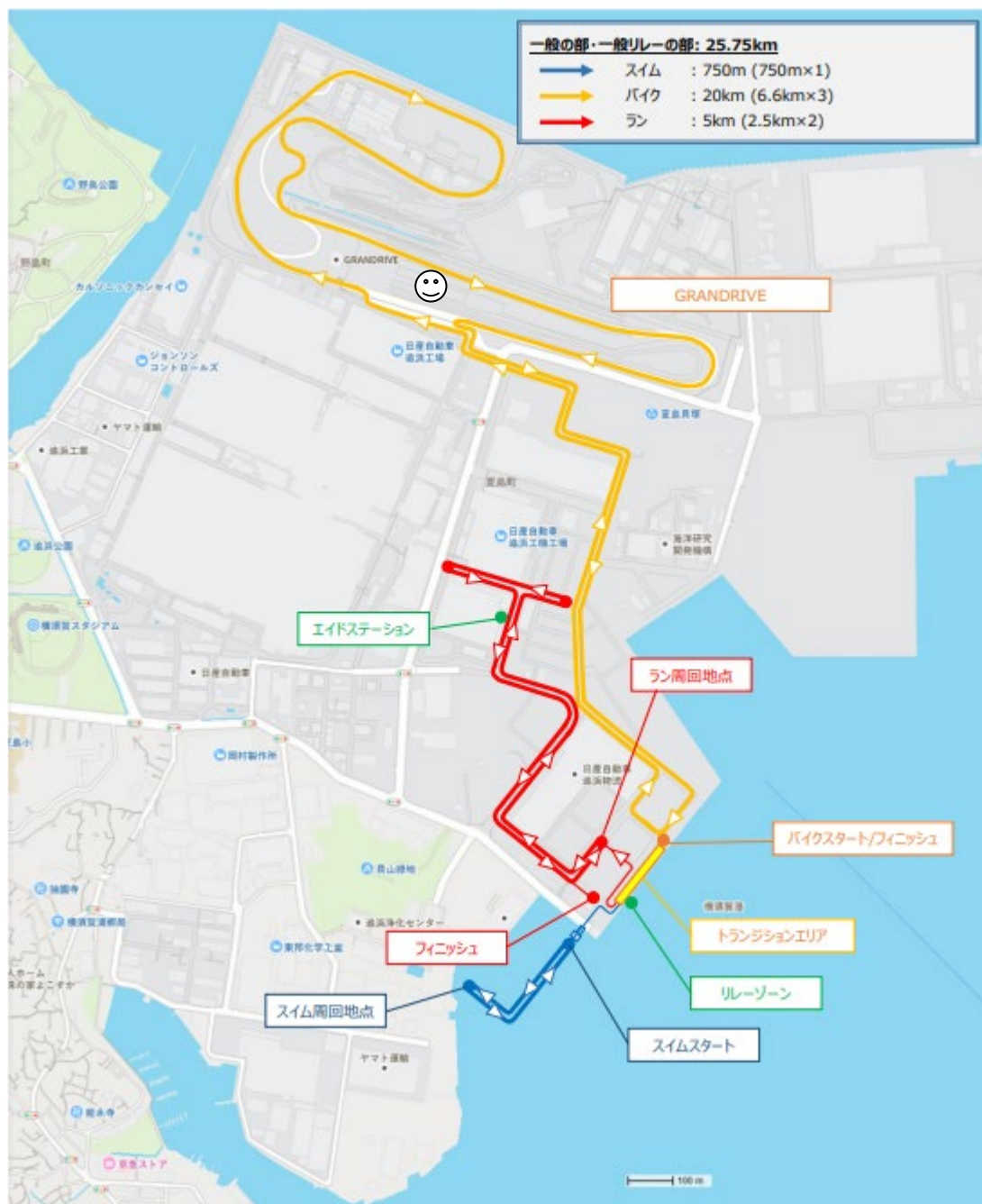
会場・コース

1. スーパースプリントの部



2. 一般の部

3. 一般リレーの部



選手権の部: 25.75km

→ スイム	: 750m (750m×1)
→ バイク	: 20km (3.4km×5+1.5km×2)
→ ラン	: 5.0km (1.0km×5)

GRANDRIVE 5 周

ラン周回地点

バイクスタート/フィニッシュ

トランジションエリア

スイムスタート

スイム周回地点

フィニッシュ

ペナルティボックス

エイドステーション

ラン周回地点

ホイールステーション

GRANDRIVE

100m

体制

1. TO・ボランティア人数と役割

ポジション	TO	ボランティア
バイク	12 人	2 人

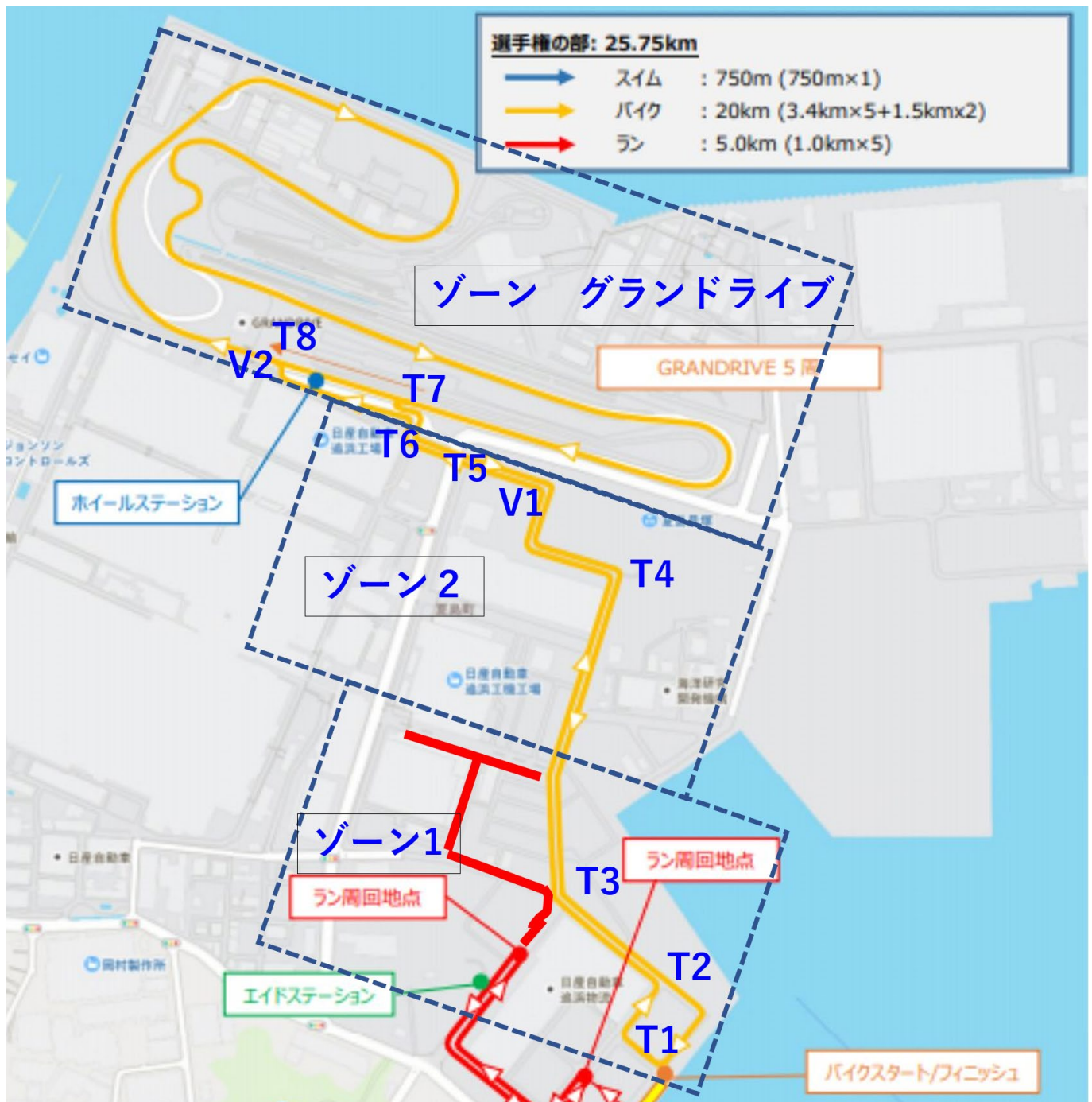
TO 配置

状況に応じて変更する場合あり、バイク(自転車)を持参できる人は持参お願いします。

名前	ポジション	担当・役割	備考
海野 浩	移動	バイクチーフ・ ゾーングランドライブ移動監視	090-5781-6718
亀村一郎	移動	バイク サブチーフ・ ゾーン1、2移動監視	090-8657-7254
竹内 史	移動先導	モータバイク 先導・後走 ゾーングランドライブ設営、撤収	
伴伸夫	移動先導	モータバイク 先導・後走 ゾーングランドライブ設営、撤収	
岡部 哲夫	T1	ゾーン1設営、監視、撤収	
岡田 展生	T2	ゾーン1設営、監視、撤収	
仙台 椎良	T3	ゾーン1設営、監視、撤収	
新田ツヨシ	T4	ゾーン2設営、監視、撤収	
大谷 圭吾	T5	ゾーン2設営、監視、撤収	
浅井 政司	T6	ゾーン2設営、監視、撤収	
鈴木 但義	T7	ゾーングランドライブ設営、監視、撤収	コース変更
玉川 圭介*	T8	ゾーングランドライブ設営、監視、撤収	コース変更
ボランティア1	V1	ゾーン2監視	
ボランティア2	V2	ゾーングランドライブ監視	

会場・コース

1. スタッフ配置図



* 定点 TO の位置は上記の場所を基本とする。ゾーン内の設営や安全対応を実施。
ただし競技中に安全を考慮してゾーン内で適宜変更可。
(変更の際には、チーフかサブチーフに確認)

バイク競技規則・ローカルルール・指導 (オペレーションマニュアルより)

4. バイク

■ ドラフティングの扱いは以下の通り

カテゴリー	ドラフティングの扱い
スーパースプリントの部 一般の部 一般リレーの部	禁止 <ドラフティング違反時の対応> ・「イエローカード」を提示し、ストップ&ゴーのペナルティにて対応する。 *JTU 競技規則 第 108 条
選手権の部	許可 (ドラフティングレース)

■ 選手権の部の周回遅れ

- 本大会はラップされて周回遅れとなった選手についても、競技の継続を認める。☺
- ラップされた選手は、ドラフティング不可でそのままレースを継続することができる。☺
- ラップされた後に、ドラフティングを行っていた選手は、ランペナルティボックスにて、1 分のタイムペナルティを科す。☺
- ラップされた選手同士も、ドラフティングを禁止とする。(ローカルルール) ☺

■ バイク競技に使用する自転車は以下の通り

カテゴリー	自転車
スーパースプリントの部 一般の部 一般リレーの部	ロードレーサー、TT バイク (左記以外の自転車では参加不可)
選手権の部	JTU 競技規則に準拠

※『固定ギヤ車』『ブレーキ無し車』など、競技者に危険を及ぼす恐れのある自転車の利用は厳禁

■ ホイールステーション用のホイールの預託・返却(選手権の部)

- トランジションチェックイン時(11:00~12:00)に、トランジションエリアにてホイールステーション担当の TO へ預託する。
- 預託されたホイールは TO が車で運搬し、GRANDRIVE のホイールステーションへ設置する。
- 選手権の部男子のバイク競技終了後、TO が車でトランジションエリアへ運搬し、その後選手へ返却する。

■ ラップオーダーは配置しない(選手権の部)

- 周回数管理は選手自身で行う。
- 選手権のバイクコースは、選手案内では 20km であるが、実測は 21.6km であるため選手各自で注意する。

■ バイク試走

- 本大会では密防止の観点から、全カテゴリーにてバイク試走は実施しない。
- 選手は、事前にコースマップ等にて、コース・周回数を把握して出場すること。

■ 走行中の「前方注意」「車間距離の確保」は選手義務。

■ 「キープレフト(左側走行)」にて競技する。(左端から 1m、コース幅の左側 3 分の 1 以内を基準)

■ 追い越しは、後方確認し前走者の右側から行う。

■ ドラフティングゾーンは前方選手の前輪先端から後方 10m の範囲。バイクは約 2m であるため、4 台分の車間距離。

■ 他競技者のドラフティングゾーンに入れるのは、「追い越そうとしているとき(20 秒以内)」、「危険回避の場合」、「トランジション出入り口」など。

■ 追い越し中は追い抜く意思を持って「前進」している必要がある。そのため、ドラフティングゾーン内では、前走の競技者と同じスピードを保ったままではならない。また、追い越されたらすぐに抜き返したり背後についてはならない。

- バイクコースのグランドライブ手前の陸橋は、安全のため追い越し禁止とする。



特に下りは注意



- ヘルメットは『自転車専用』を必ず着用。「カスク」「ヘッドギア」等の利用は厳禁。
- バイクでは上下ウェアを着用し、規定のヘルメットを着用すること。「上半身はだか」での競技禁止。
- 前開きファスナー付ウェアの着用はファスナーを上げることで使用可。前ファスナーを下けたままで競技を行うことは禁止。
- バイク競技中、レースナンバーは背中によく見えるよう着用する。レースナンバーの改造、折曲げは厳禁。
※ ずれている場合、見づらい場合等は直させてください。
- ナンバーベルト使用時には、レースナンバーが腰から上にくるように着用する。
- バイク用レースナンバーシールは、ヘルメットの前面とバイクサドル左下フレームに貼りつける。
- 交通規則を守り、表示看板、セーフティー・コーン、大会スタッフの指示に従って競技する。
- 中学生の DH バーの装着は禁止。
- バイクパートでは、エイドステーション無し。
- 「ペットボトル」をバイクボトルホルダーに入れて競技を行うことは禁止。
- ヘッドフォンやイヤホンを装着したまま競技を行うことは禁止。
- スマートフォンのバイクへの取り付けは、GPS/サイクルメーターとして使用する場合に限り許可する。通話や撮影に使用することは禁止。
- バイクの周回チェックはアンクルバンドによる「機械周回チェック」を行う。
- 周回数の確認は選手自身で行う。周回チェックポイントでは、自身の周回数をスタッフに確認することはできない。
- 周回数確認のため、サイクルメーターの装着を推奨する。

TO 業務

1. 業務要件 (オペレーションマニュアルより)

4. バイク

<担当業務>

No	業務	詳細
0	前日準備	<前日参加のチーフが対応> ・バイク用備品の確認 ・コース上の危険箇所確認 ・その他、運営上の支障が無いかの確認 ※運営への支障が判明した場合は、実行委員会と代替手段を策定する。
1	モーターバイクの管理・運用	・バイク TO 用のモーターバイクの管理と運用 ・大会実行委員会にて、125cc を 2 台レンタル予定
2	バイクコース設営	・バイクコースの設営 ・乗降車エリアの設営。(乗車ライン:緑、降車ライン:赤) ※トランジションパートと連携 ・カテゴリ別のコース転換 ⇒GRANDRIVE の周回方法がカテゴリごとに異なるので注意
3	先導	・各カテゴリの先頭選手をモーターバイクで先導する。 ・無線で情報を連絡する。
4	最終選手の確認	・各カテゴリの最終選手を確認し、無線で情報を連絡する。
5	GRANDRIVE 前の陸橋の安全管理	・追い越し禁止の徹底
6	危険箇所の誘導	・バイクコース上の危険箇所にて、選手の誘導を厳重に実施する。 ⇒カラーコーンを設置して明確な誘導・注意喚起をする。 ⇒当日危険箇所を確認し、必要に応じて TO を配置する。
7	危険走行・キープレフトのチェック	・危険走行・キープレフトが遵守できていない選手へ注意し是正を促す ※原則として声を出さず、ホイッスルとジェスチャーで注意を促す。
8	ドラフティングのチェック	<スーパースプリントの部/一般の部/一般リレーの部> *ドラフティング禁止 ・ドラフティング違反に対しては「イエローカード」を提示し、ストップ&ゴーのペナルティにて対応する。(JTU 競技規則 第 108 条) <選手権の部> *ドラフティング可(ラップ選手:競技継続可・ドラフティング禁止) ・ラップされた選手同士のドラフティングチェック
9	バイク競技審判	・ルール違反時の対応 <スーパースプリントの部/一般の部/一般リレーの部> ・選手への是正指導 *注意を促しても是正されない場合は HR へ報告 <選手権の部> ・HR へ報告し裁定を仰ぐ
10	リタイア選手対応	<マスク着用の依頼> ・リタイア選手・ラップ選手用に予備のマスクをチーフが管理し、予備を持っていたほうが良い TO には、必要に応じてチーフが予め配布する。 ・リタイア選手・ラップ選手にマスクを渡し着用を促す。 ・予備のマスクを持っている TO が近くにいない場合には、フィニッシュエリアへ案内する。(マスクを受け取り着用するよう指示する) <アンクルバンドの回収>

エイジ:1周目のみ
選手権:全周

選手権:TL が実施。



No	業務	詳細
		・TO がアンクルバンドを回収する。TO は直接触れず手持ちのビニール袋に入れて封をする。競技終了後、大会本部へ返却する。
11	救護対応	・選手に触れる場合は手袋を着用して対応する。 ・大会本部・メディカルへの連絡、引き渡し、搬送サポート
13	選手支援者のコントロール	・選手支援者がバイク競技エリアへ入らないようコントロールする。 ⇒バイク競技エリアは、選手支援者立入禁止



無線を持たない TO は、ナンバー、場所、理由をチーフに連絡ください

2. 業務詳細

1. 今回の注意事項

- ① ホイールステーションは、別途担当がいます。
- ② 今回は、パラの選手はいません。

2. 事前準備業務

- ① 朝一番ボランティアと協力してカラーコーン・コーンバーにてコース設営をお願いします。
 - ・テストコースまでの対面通行区間は視認性よくコーン・コーンバーにてセンターラインを作ってください。
 - ・コーナー等でショートカットが発生しないようにコーナー位置の明確化と、コーンバーでガードを作ってください。また（雨で無ければ、路面にガムテープで矢印の指示も貼るのも有効です）
 - ・新車等が並ぶ箇所は注意喚起するコーンを設置してください。
 - ・路面が悪いところは迂回させるようなコース設定や、コーンによる注意喚起を施してください。
- ② 競技中トラブルへの迅速な連携対応を行うためにも、ボランティアへ挨拶・自己紹介・都度の声かけを行い、協調体制の確立を図ってください。（例年は、日産の無線部の方がおられます）
- ③ コース上の落ち葉・砂利など事故の原因となります。竹箒での清掃をお願いします。

3. 競技中オペレーション

< 定点監視 >

- ① 事故による怪我、体調不良などの際は、安全なところに避難させ、救護への電話と周回している移動監視バイク担当へ連携、あるいはチーフ・サブチーフ携帯まで電話をしてください。急を要する場合には可能な限りの応急処置（止血や胸部圧迫）を施してください。
- ② 故障などによるリタイヤの場合は、アンクルバンドを選手から受け取り、コース外を押して歩いて戻るように指示してください。
- ③ T5 は陸橋上での安全確保をお願いします。

基本追い越し禁止としますが、安全確保のため登りでは追い越しを許容します。ただし反対車線へのはみ出しは禁止。下りでは全面的に追い越し禁止とします。
- ④ 選手の落し物は、移動監視バイク担当へ渡してください。
- ⑤ 競技中に発生したゴミはコース外で保持ください。
- ⑥ 自身の体調管理およびボランティアの体調管理への気配りををお願いします。
- ⑦ ショートカット発生時は、ホイッスル等で注意喚起しコースを外れたところから再スタートをとることを促してください。戻らずそのままレースを続けた場合、レース No. を控えてチーフへ報告くだ

さい。(その場合もホイッスルなどで注意したという事実は残してください)

<移動監視>

- ① テストコース内の周回にて事故・故障選手への対応をお願いします。
- ② 全体周回にて、各 TO・ボランティアからの情報連携をお願いします。
- ③ エイジのドラフティング・ブロッキングなどへの注意喚起をお願いします。
- ④ 定点 TO・ボランティアの体調管理に気を配ってください。
- ⑤ 選手権では、ラップ後の選手のドラフティング監視をお願いします。

<移動先導・後走>

- ① トップ選手の先導・最終選手の追いきり走行をお願いします。
- ② その他、移動監視バイク担当と同じ。

4. 競技終了後

- ① カラーコーン・コーンバー・立て看板を撤収し、適宜まとめおきください。
- ② 路面に貼ったガムテープもはがしてください。最後にゴミを残さないように清掃してください。
- ③ どうしても昼食時間が競技終了後となることから、最終確認は TO が行い、ボランティアは早期上がってもらうよう促してください。

3. 備品

■カラーコーン 330 ← テストコース 60。工場内:10m 毎で 1.6Km は 160 本。1コーナー9本×9 + 坂24

■コーンバー 130 ← 新車の保護レベルによる 1コーナー8本と仮定×9 + 坂 20

■ガムテープ(黄) 10巻

■竹ぼうき 5本 ゴミ袋3袋

■サイン 右折 7, 左折 7、減速 2、Uターン1、直進3

■メガホン×2

■グランドライブ入口前坂用の保護マット/毛布等

以下は本部準備？

■リタイア選手用 マスク 30

■リタイア選手アンクルバンド用ビニール袋 14

■リタイア選手用手袋 14

トランシーバーアプリ Zello

はじめに

- ・無線アプリ Zello は、スマホにアプリをインストールし利用することで、音声は複数人での会話ができ、それ以外にもテキストチャット、画像送信、位置情報共有などの機能を持っている。
- ・現段階では、“無線トランシーバー”が正式なものであり、本“無線アプリ Zello”は、無線トランシーバーを利用しない希望 TO に試行的に利用してもらう。
- ・TO業務に差し障らない使用を基本とする。無線アプリからの音声は、片耳イヤホンを通して聴く。
- ・まだ試行段階であり、バッテリー量が急に減る、データ通信によりデータ通信料がかかる可能性があるもので、あくまでも希望者の利用とする。
(参考:9 時間使用でバッテリー量 50%、データ通信20数 MB 利用)

目的

- ・試行目的…無線トランシーバーを持たない TO へのレース情報提供による情報の質の格差是正による総合的な審判業務の質の向上。
- ・情報共有…基本、レースや各種目の開始、終了や先頭選手・最後尾選手の位置情報(スタートや周回数)を提供すること、全 TO へ発信すべき情報提供(水温、気温、スタート時間等)
- ・状況報告…緊急事態時には無線トランシーバーを持たない TO が第一発見者の場合は、音声・画像・テキストで本部(本部に Zello 使用者が必要か)に発信し、その後はチーフに任せることが望ましい。

* なお、上記目的は最終形であるので、試行期間は可能な範囲で、情報共有や情報報告とする。

具体的な試行方法 (日産カップ神奈川、大磯ファミリーを想定)

1. 事前準備

- 1)スマートフォントランシーバーアプリ「Zello」をインストール
- 2)アプリ設定
- 3)チャンネル選択
大磯では「神奈川県トライアスロン連合_2019 大磯」
パスワードは「kntu」
* 日産では「神奈川県トライアスロン連合テスト2」
- 4)スマートフォンの満充電、当日はイヤホンを持参

今回は、
「神奈川トライアスロン大会 2021」

2. 大会における試行方法

★TO業務に差し障らない使用を基本とし、無線トランシーバーを持たないTO向けで、スマホトランシーバー(Zello)の利用希望者を対象とする。まずは基本受話のみとし、大会の流れを聞いてください★

1)試行について

- ①無線トランシーバーとスマホトランシーバー(Zello)の使い分け
 - ・チーフ等は無線トランシーバーを利用し、通常審判業務に利用
 - ・上記以外のTOで試行希望者はスマホトランシーバー(Zello)を利用する。
- ②利用方法
 - ・レースが始まる前に Zello を起動する。その後、バッテリー節約のため、電源 off とする。
(バックグラウンド処理でアプリは稼動中)
 - ・大会運営状況の情報共有等を技術委員会メンバーが発信し、TOは基本受話のみとする。

ただし、リタイヤ情報や事故について Zello を使用して
音声・画像・テキスト発信・位置発信機能により報告することは許可。

2)注意事項

- ①片耳イヤホンの使用とする。(両耳使用やスマホスピーカーを利用しない)
- ②スマホ画面を注視してTO業務を疎かにしない。

Zello アプリについて

1. 機能と画面イメージ

音声の一斉通報、テキストメッセージ・画像の一斉通報、位置情報通知、音声録音・再生、1対1通話



2. インストールとチャンネル設定 (iPhone の場合)

- ・iTunes App Store 上で「Zello」を検索し、インストールする。
- ・自分のアカウントを作成し、アプリ設定する。
- ・メインメニュー画面からチャンネル画面へ移動し、チャンネルを検索して、「神奈川県トライアスロン連合__2019大磯」を選択する。パスワードは「kntu」

今回は、
「神奈川トライアスロン大会 2021」